

平成26年2月

大雪災害に関する検証報告書



【写真：平成26年2月18日 市道2-2号線 自衛隊による除雪作業】

〈平成26年7月〉

佐久市災害対策本部

はじめに

平成26年2月14日から15日にかけて、前線を伴った低気圧が、発達しながらゆっくりとした速度で本州の南海上を北東に進み、長時間にわたり雪が降り続いたことにより、100年に一度と言われる程の記録的な大雪となり、高速道路、主要幹線道路等の通行止め、列車の運休など、交通網のマヒが発生し、大きな混乱をもたらす事態となりました。

さらに、市内全域でパイプハウスなどの農業施設の倒壊や損壊による甚大な被害や、交通機能の混乱により、物流が寸断され、商工業活動はもとより市民生活へも大きな被害や影響を与えました。

被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、除排雪等について、佐久市建設業協会をはじめとする関係団体の皆様、さらに、区長さんをはじめ多くの市民の皆様に、多大なご尽力、ご協力を賜りましたことに厚く御礼を申し上げます。

今回の大雪災害は、予想がつきにくく、短期的、さらに全市的な規模となり、その対応は難しいものでありました。市では、大雪を今後も起こりうる災害と認識するなかで、国や県、関係機関、さらに、市民の皆様からご意見等を頂戴しながら、職員の参集や情報収集・発信方法など、新たな事象も含め、浮かび上がった課題などを検証・総括し、今後の備えとしてまいりたいと考えております。

防災体制強化としての自助・共助・公助、そして近助をより強固に推進しつつ、市民の皆様の安全・安心な生活が確保できるよう災害対応の充実に向けて引き続き取り組んでまいります。

佐久市災害対策本部

本部長 佐久市長 柳田 清二

目 次

I	気象概要	1
1	2月の天候の特徴	
2	降雪量と月最深積雪	
3	長野地方気象台 軽井沢観測点での観測状況	
II	主な経過	5
1	気象庁 注意報・警報の状況	
2	災害対策本部の状況	
3	自衛隊派遣の状況	
4	馬坂・広川原・丸山地区の外出困難（孤立）地域の状況	
5	市民生活等への主な対応状況	
6	区への除雪経費に対する対応状況	
7	政府調査団等への対応状況	
III	各災害対策部から出された主な課題と解決への検討	9
1	災害発生時	
2	初動活動時	
3	対策検討時	
4	応急・復旧時	
IV	まとめと今後の対応	20

I 気象概要

【長野地方気象台 「平成26年2月の長野県内の天候」より】

1 2月の天候の特徴

上旬は、高気圧に覆われ晴れた日もあったが、気圧の谷や低気圧、寒気の影響で曇りや雨または雪の日もあり、8日には発達した南岸低気圧の影響で県内の広い範囲で大雪となった。

中旬から下旬は、冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れた所が多くなったが、14日から15日にかけては、動きの遅い南岸低気圧の影響で、各地で記録的な大雪となり、15日には、最深積雪が軽井沢で99cm、飯田で81cm、日降雪量が軽井沢で52cmとなるなど、統計開始からの最大を記録した地点があった。

<参考>

月平均気温	平年並、または平年より低い
月降水量	平年より多い、またはかなり多い
月間日照時間	平年より多い、またはかなり多い
月降雪量	北部では平年並、または平年より少ない 中部や南部では平年より多い、またはかなり多い



【写真：平成26年2月22日 農業ハウスの倒壊】

2 降雪量と月最深積雪

降雪量は、上旬、北部では寒気の影響をうけた日もあったが、高気圧に覆われ晴れた日もあり、平年並または平年より少なくなった。中部や南部では南岸低気圧の影響で大雪の日があり、平年よりかなり多くなった。

中旬は、南岸低気圧や寒気の影響で、平年より多いまたはかなり多くなった。

下旬は、高気圧に覆われて晴れた日が多く、平年より少ないまたはかなり少なくなった。

月降雪量は、北部で平年並または平年より少なく、中部や南部では平年より多いまたはかなり多くなった。

月最深積雪は、南岸低気圧の影響で軽井沢や飯田などで統計開始からの最大を記録するなど、中部や南部を中心に平年よりかなり多くなった。

2月の降雪量 上段：実況値 cm（平均比 %） 下段：階級区分

	長野	松本	諏訪	軽井沢	飯田
上旬	32 (91) 平年並	49 (613) かなり多い	30 (250) かなり多い	31 (207) かなり多い	33 (413) かなり多い
中旬	72 (257) かなり多い	60 (545) かなり多い	44 (314) かなり多い	90 (600) かなり多い	71 (1014) かなり多い
下旬	1 (5) 少ない	0 (0) 少ない	0 (0) かなり少ない	0 (0) かなり少ない	0 (0) 少ない
月	105 (128) 多い	109 (454) かなり多い	74 (218) 多い	121 (310) かなり多い	104 (547) かなり多い

2月の最深積雪

	長野	松本	諏訪	軽井沢	飯田
値	70	75	52	99	81
起日	2/16	2/15	2/15	2/15	2/15
平年比	304%	469%	306%	354%	623%
階級	かなり多い	かなり多い	かなり多い	かなり多い	かなり多い

3 長野地方気象台 軽井沢観測点での観測状況

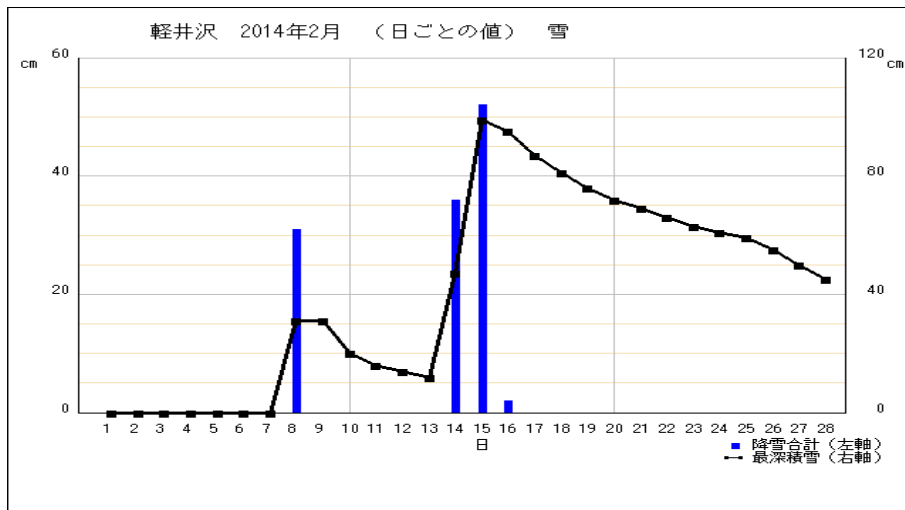
軽井沢観測点では、2月8日の降雪(最深積雪 31cm)により、14日の降り始めた時点で12cmの積雪が観測されている。

最深積雪 99cm (2月15日午前11時観測)

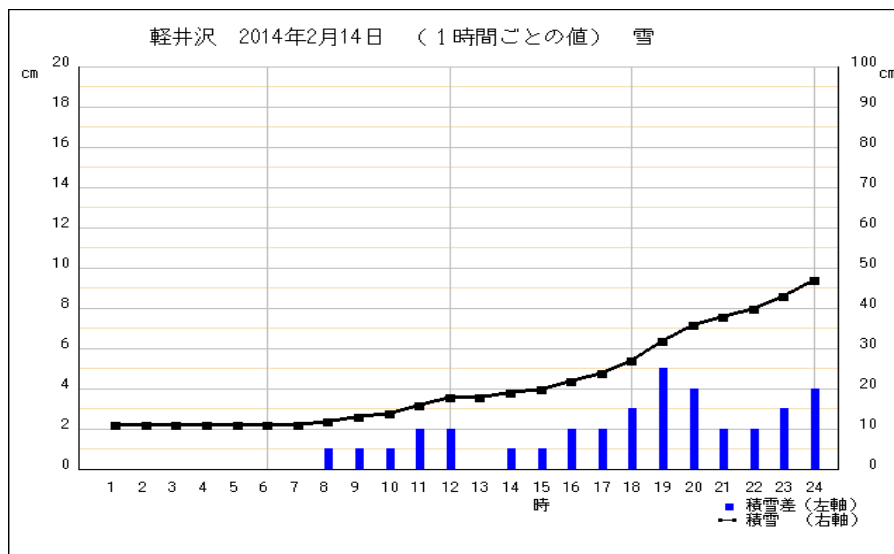
1時間当たり降雪(最大) 8cm (2月15日午前8時観測)

※昭和6年2月に観測された最深積雪71cmを28cm上回る。

平成26年2月の降雪状況(日ごと)



平成26年2月の降雪状況(時間ごと)



軽井沢特別地域観測所 観測内容

(長野地方気象台 平成26年2月のまとめ)

2月14日(金曜日)

時間	気温(°C)	日照時間(h)	雪(cm)	
			降雪	積雪
1	-6.9		--	11
2	-6.7		--	11
3	-6.9		--	11
4	-7.0		--	11
5	-7.1		--	11
6	-7.0		--	11
7	-7.0	0	--	11
8	-6.9	0	1	12
9	-6.6	0	1	13
10	-6.5	0	1	14
11	-6.3	0	2	16
12	-6.0	0	2	18
13	-5.9	0	--	18
14	-5.5	0	1	19
15	-5.3	0	1	20
16	-5.8	0	2	22
17	-5.3	0	2	24
18	-5.2	0	3	27
19	-5.0		5	32
20	-5.0		4	36
21	-5.9		2	38
22	-5.9		2	40
23	-5.4		3	43
24	-5.2		4	47

2月15日(土曜日)

時間	気温(°C)	日照時間(h)	雪(cm)	
			降雪	積雪
1	-4.3		5	52
2	-4.1		4	56
3	-4.1		3	59
4	-4.1		4	63
5	-4.0		4	67
6	-4.3		6	73
7	-4.1	0	7	80
8	-3.5	0	8	88
9	-4.6	0	6	94
10	-4.0	0	4	98
11	-3.5	0	1	99
12	-3.5	0	--	99
13	-2.6	0	--	99
14	-2.8	0	--	99
15	-2.9	0	--	98
16	-1.7	0	--	98
17	-2.7	0	--	97
18	-2.7	0	--	96
19	-2.8		--	96
20	-3.1		--	95
21	-3.4		--	94
22	-3.3		--	94
23	-3.3		--	93
24	-3.1		--	93

II 主な経過

1 気象庁 注意報・警報の状況

2月14日(金)	4:50	長野県中部「大雪注意報」発表
	10:50	長野県中部「大雪警報」発表

2 災害対策本部の状況

※17日間設置 災害対策本部会議等 18回開催

2月15日(土)	7:50	佐久市災害対策本部 設置
3月 3日(月)	9:40	佐久市災害対策本部 廃止

3 自衛隊派遣の状況

2月16日(日)	10:35	佐久市災害対策本部長より長野県に「自衛隊の災害派遣を要請」
	14:10	自衛隊派遣要請決定
2月17日(月)	10:40	自衛隊・長野県・佐久市作業工程打ち合わせ実施
	13:40	岩村田地区市道 S01-125 号線、S02-002 号線の延長 4.2km 除雪開始
2月18日(火)	8:30	除雪再開
	16:50	自衛隊災害派遣任務完了・撤収要請
	18:40	自衛隊撤収

4 馬坂・広川原・丸山地区の外出困難(孤立)地域の状況

2月15日(土)	9:51	馬坂・広川原地区 全戸停電
	15:49	馬坂・広川原地区で除雪作業員3名行方不明
	17:10	除雪作業員 佐久警察署へ捜査要請
2月16日(日)	15:35	除雪作業員3名自力にて広川原住民宅にて保護
	18:12	馬坂・広川原地区 全戸停電復旧
2月18日(火)	10:15	長野県消防防災航空センターに消防防災ヘリ救助要請
	14:50	消防防災ヘリによる広川原地区3世帯3名、除雪作業員3名、丸山地区1名救助・支援物資の降下
2月20日(木)	8:00	丸山地区孤立解消
	9:10	長野県消防防災航空センターに消防防災ヘリ救助要請(2回目)
	10:40	消防防災ヘリによる除雪支援等市職員6名、医薬品他物資の降下
	13:00	馬坂・広川原地区 除雪完了・孤立解消
3月13日		広川原3名市福祉施設から帰宅



【写真：平成26年2月20日 長野県消防防災ヘリコプターへ物資搬入】

5 市民生活等への主な対応状況

- (1) 防災行政無線(同報系)等により市民周知の実施
2月15日(土)～3月2日(日) 16日間
※佐久市ホームページ、フェイスブック、FM さくだいら、佐久ケーブルテレビ他情報提供
- (2) 佐久建設業協会等協力により24時間体制で除雪作業実施
2月15日(土)～3月2日(日)
- (3) 滞留車両、新幹線乗客者等への物資の配布
2月15日(土)～2月18日(火)
約600人(ビスケット・クラッカー・佐久の水)
- (4) 各区長を中心にした地域協働力による除排雪作業実施
2月17日(月)～3月2日(日)
- (5) 保育所自由登園、小・中学校臨時休校、児童館休館措置
ア. 保育所自由登園
2月17日(月)～2月22日(土)
イ. 小・中学校臨時休校
2月17日(月)～2月19日(水)
ウ. 児童館休館
2月17日(月)～2月19日(水)
- (6) 滞留車両移動場所確保にあたり商業施設の協力
2月17日(月)～2月22日(土) 2施設
- (7) 企業の協力による雪捨て場の確保
2月18日(火)～3月9日(日)
公共施設7箇所、民間施設4箇所、計11箇所
- (8) ボランティアによる地域要支援者への除雪相談及び実施件数
2月22日(土)～2月23日(日) 5件
- (9) ボランティアによる通学路確保のための除雪を実施
2月22日(土) 422名参加

(10) ごみ収集対応

2月24日(月)～2月28日(金) 一部収集開始

3月1日(土)～ 通常収集開始

(11) 農業施設倒壊・半壊等による相談窓口設置及び国等への助成要請

2月20日(木)～ 相談窓口開設

罹災証明発行件数 1,083件

ビニールハウス等被害数 1,821棟

養鶏被害数量(鶏ひな) 2,000羽

乳牛被害数量(生乳廃棄) 11.7トﾝ

被害総額 856,733千円

6 区への除雪経費に対する対応状況

○区内除排雪活動費交付金 240区 7,139,800円

区の世帯数に応じ規模別均等割 + 区内の世帯数 × 100円

<規模別均等割>

区の世帯数(平成24年10月1日現在)	金額
1世帯から50世帯まで	8,000円
51世帯から100世帯まで	10,000円
101世帯から200世帯まで	13,000円
201世帯から500世帯まで	20,000円
501世帯以上	30,000円

7 政府調査団等への対応状況

2月21日(金)	長野県副知事、建設部長 現地調査
2月23日(日)	寺島義幸代議士、木内均代議士、井出庸生代議士 本部長から被災支援要請
3月10日(月)	参議院災害対策特別委員会(委員長 竹谷とし子議員以下 16名)及び若林健太参議院議員 現地調査
3月15日(土)	政府調査団(西村康稔内閣府副大臣以下17名) 現地調査

Ⅲ 各災害対策部から出された主な課題と解決への検討

今回の大雪対応で浮き彫りとなった課題とその解決への方向性について、16対策部より「災害発生時」「初動活動時」「対策検討時」「応急復旧時」の各段階における洗い出しを行った。

課題総数	217項目
災害発生時	44項目
初動活動時	72項目
対策検討時	48項目
応急普及時	53項目

概要は、次のとおりであり、具体的な実施方法等、今後の災害対応の充実につなげていくものとする。

※ 道路除雪、農業施設災害についての詳細検証は別に行う。



【写真：平成26年2月22日 ボランティアによる通学路確保のための除雪】

1 災害発生時

(1) 災害対策本部の運営等

① 気象情報の把握

課題	解決の方向性
・気象情報等の情報把握不足	・情報収集及び把握体制の確立

●対応

- ・関係機関HP、気象情報ポータルサイト、問い合わせ等による情報収集
- ・【実施済】メール配信による気象情報等の周知「平成26年度全職員配備」

② 職員の参集・配備

課題	解決の方向性
・交通網の不通による職員参集の遅れ等	・参集経路及び方法の複数化 ・参集可能な各支所等での活動
・職員の居場所や参集可否について確認不可 ・参集不可による配備職員不足	・緊急連絡体制の複数化と徹底 ・参集場所の変更を想定した事務分掌

●対応

- ・【実施済】動員配備人員、事務分掌について、職員災害対応マニュアル等の見直し
- ・【実施済】災害発生等状況通報担当者を1名体制から2名体制に変更

③ 災害対策本部について

課題	解決の方向性
・浅間病院災害対策本部の設置判断	・関係機関への情報収集等を行い、災害対策本部設置基準の整備

●対応

- ・情報収集等による対策本部設置基準、職員災害対応マニュアルの見直し

(2) 関係機関との連携

① 情報収集、共有及び提供

課 題	解決の方向性
・関係機関との連絡先の確保 ・緊急性の高い患者の受診	・緊急時における専用の連絡回線等準備 ・緊急を要する患者等からの相談体制整備

●対応

- ・緊急連絡体制整備など早期対応のため、活動時における協定など予防策の充実

(3) 情報収集・共有・発信

① 情報収集

課 題	解決の方向性
・情報収集、現場の状況の把握不足 (孤立等地域)	・職員等から自宅周辺、通勤途中の写真をメール等により収集

●対応

- ・【実施済】「職員災害対応マニュアル」及び「災害対応マニュアル・チェックリスト」の運用

② 情報発信

課 題	解決の方向性
・事前注意喚起の等の対応不足 ・市民への情報提供の不足	・気象庁等情報の随時把握 ・職員の担当区分と連絡体制の見直し

●対応

- ・情報発信の多重化の検討
- ・【実施済】「職員災害対応マニュアル」及び「災害対応マニュアル・チェックリスト」の運用

(4) その他

課 題	解決の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公用車両、除雪車等の燃料不足 ・ 放置車両による除雪作業停滞・交通渋滞 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公用車両使用マニュアルの検討 給油等関係機関との協定 ・ 放置車両を強制移動の検討

●対応

- ・ 給油の習慣化、燃料補給協定の検討
- ・ 【国・県による対応】 道路交通法等の整備による、放置、停留車両の強制移動



【写真左】
平成 26 年 2 月 17 日
佐久平駅浅間口
周辺の風景



【写真右】
平成 26 年 7 月 14 日
佐久平駅浅間口
周辺の風景

2 初動活動時

(1) 災害対策本部の運営等

① 職員の参集・配備

課 題	解決の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・交通網の不通による職員参集の欠席や遅れ ・情報収集、整理、共有、発信の役割が不明確 ・人員が不足し迅速な対応が困難 	<ul style="list-style-type: none"> ・徒歩通勤を考慮し、居住地に近い支所等を活動拠点とする ・担当役割分担の明確化及び人員配置 ・人員配置マニュアルの検討

●対応

- ・動員配備人員、事務分掌について、「職員災害対応マニュアル」の見直し
- ・【実施済】各対策部から連絡員として1名を本部詰めとする

(2) 関係機関との連携

① 情報収集、共有及び提供

課 題	解決の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・FMラジオ、ケーブルTV等マスコミへの情報提供が不十分 ・県と市の連携 ・要支援者安否確認が困難 ・除雪体制の混乱 	<ul style="list-style-type: none"> ・マスコミへの情報提供方法等の整備 ・県職員の派遣による情報共有 ・関係団体と協議、要支援者リストの整備 ・除雪作業を建設業者に委託できるよう検討

●対応

- ・マスコミへの情報提供方法について記者クラブとの検討
- ・FM佐久平、佐久ケーブルテレビへの情報提供と委託契約に基づく災害情報放送要請、臨時災害局設置に関する協定の検討
- ・平時からSNSを含む活用等の検討、定期的な有識者による検証体制の確立
- ・災害時支え合いマップの更新、充実
- ・災害時避難行動支援者システムの早期構築
- ・建設業協会との除雪体制強化の検討

(3) 情報収集・共有・発信

① 情報収集

課 題	解決の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・学校状況把握に時間を要した ・独居高齢者等の被害状況把握が困難 ・農業者等の被害状況把握や認定農業者など一部の農業者以外の把握が困難 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員等対応通報マニュアル整備 ・災害時支え合いマップ作成・更新 関係機関との連携強化 ・ビニールハウス等所有者、作物別農業者のリスト作成

●対応

- ・区長、民生児童委員との支え合いマップ更新に対する連携強化
- ・農業者の現状把握にあたり、JA 佐久浅間等との連携強化

② 情報共有

課 題	解決の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・対策部内、班内における情報共有が困難 ・消防団活動の位置づけ及び連絡体制の不徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を共有化するための情報掲示板等の整備 ・消防団活動の基準整備、連絡体制、手段、方法の確立

●対応

- ・本部に各対策部より「本部連絡員」の配置、情報共有システム等の検討
- ・【実施済】消防団組織との連絡体制システム等の検討（全団員へ一斉メール送信等）

③ 情報発信

課 題	解決の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・情報周知方法 HP等を活用した情報提供の遅れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・即自的、効果的な周知方法の検討 マスコミへの情報提供方法の検討

●対応

- ・平時からの市民への災害情報提供を勘案した情報システム多重化の検討
マスコミへの情報提供方法について記者クラブと検討

(4) その他

課 題	解決の方向性
<ul style="list-style-type: none">・道路管理を除く公共施設への除排雪経費・市施設等除雪機等の確保が困難・食料等物流マヒによる商工業者への対応	<ul style="list-style-type: none">・事前に対象施設、経費等について協議・除雪範囲、方法の改善・国、県との連携による対策検討

●対応

- ・市、各関係機関等の施設管理における除雪機の保有調査及び借用等体制検討



【写真：平成 26 年 2 月 26 日 雪捨て場（千曲川スポーツ交流広場）】

3 対策検討時

(1) 災害対策本部の運営等

① 職員の参集・配備

課 題	解決の方向性
・災害関連業務への職員配備により通常業務へ影響	・職員が複数の窓口対応が可能となるよう、担当業務以外の副担当業務を拡大

●対応

- ・平時から業務の複数担当制の構築

② 対策本部会議について

課 題	解決の方向性
・災害対策本部会議と検討会議等の位置づけ	・会議の開催時に位置づけの確認

●対応

- ・災害対策本部会議と各対策会議について、職員災害対応マニュアルの見直し

(2) 関係機関との連携

① 情報収集、共有及び提供

課 題	解決の方向性
・警察等関係機関との連携	・警察、業者、住民との協働、各区自主防災組織との連携
・通学路歩道部分の除雪対策決定の判断	・除雪方法等について、地域や区、関係団体と協議し、各学校区の状況に応じた対応方針の策定。道路管理者との協議等によりボランティアの協力依頼など早期の検討

●対応

- ・平時から各対策部の業務における協定等検討・訓練等の実施
- ・各関係機関との会議等を通じて各対策部における防災への取り組み状況の周知
- ・学校、保護者（児童生徒を含む）、地域による共助関係の構築

(3) 情報収集・共有・発信

① 情報収集 ・ ② 情報共有

課 題	解決の方向性
・全体のリアルタイムな情報把握	・情報集約の一元化と伝達方法

●対応

- ・職員災害対応マニュアル見直しによる情報の「連絡調整係」、「情報受付・収集係」、「情報伝達・報告係」の本部設置

③ 情報発信

課 題	解決の方向性
・防災無線が聞こえづらい等への対応	・情報発信方法の多重化

●対応

- ・平時からの市民への災害情報提供を勘案した情報システム多重化の検討

(4) その他

課 題	解決の方向性
・物流機能マヒによる給食等食材の調達確保 ・排雪場（雪捨て場）の確保と円滑な除雪作業 ・帰宅が困難な病院職員の対応	・平時の備蓄及び非常食について検討 ・排雪場（雪捨て場）の確保 積雪量による排雪場（雪捨て場）設置基準の検討 ・院内施設を利用した宿泊場所の確保

●対応

- ・食料確保等に関する食料調達計画の見直し
- ・排雪場（雪捨て場）の設置基準、確保の検討と市民への情報提供
- ・職員災害対応マニュアルの見直し

4 応急・復旧時

(1) 災害対策本部の運営等

① 職員の参集・配備

課 題	解決の方向性
<ul style="list-style-type: none">・ 人員並びに指揮者の確保・ 高齢者・障がい者の単独世帯(要支援者)の除雪・ 農畜産業者への対応の遅れ	<ul style="list-style-type: none">・ 現場派遣職員等を柔軟に対応、役割分担の明化・ 自助・共助・公助・近助についての周知、高揚を図る・ 農道の除雪等についての検討

●対応

- ・【実施済】職員対応マニュアルの見直し
- ・現場派遣職員への自助・共助・公助・近助の周知
- ・農道に対する除雪の検討と災害対応マニュアルの見直し

(2) 関係機関との連携

① 情報収集、共有及び提供

課 題	解決の方向性
<ul style="list-style-type: none">・ かかりつけ医療機関以外の周知・ 対応現場により職員対応に誤差・ ボランティアの受け入れ体制	<ul style="list-style-type: none">・ 診療可能機関との連携、市民周知方法の検討・ 災害対応マニュアル等の熟知・訓練等・ 佐久市社会福祉協議会、市民活動サポートセンターとの連携強化

●対応

- ・ 受診体制を図る為の連携強化、市民への情報提供手段の検討
- ・ 各対策部による訓練等の実施
- ・ 社会福祉協議会、市民活動サポートセンターとの訓練等実施

(3) 情報収集・共有・発信

① 情報収集

課 題	解決の方向性
・交通状況等の情報収集	・職員出勤時に情報収集

●対応

- ・職員災害対応マニュアルの見直し
- ・市内道路状況システムの検討

② 情報共有

課 題	解決の方向性
・早急な情報の整理・まとめが困難	・区長等から収集した情報を効率的に共有する手段の確立
・市民からの電話等対応が困難	・全庁で共有し、解消を図る

●対応

- ・平時からの市民への情報提供を勘案した情報化システム構築の検討
- ・【実施済】職員対応マニュアルの見直し

③ 情報発信

課 題	解決の方向性
・迅速な情報発信とケーブルテレビによる映像の強みを活かした情報提供が不十分	・効果的な周知方法の検討、災害時における放送内容の協議

●対応

- ・ケーブルテレビへの情報提供と委託契約に基づく災害情報放送の要請
- ・平時からの市民への情報提供を勘案した情報システム多重化の検討

IV まとめと今後の対応

大雪に伴う幹線道路等の交通網のマヒが、市民生活に甚大な影響を与えたことから、交通網が市民生活を支えるための重要な社会基盤であることを、再認識させられる結果となった。

この報告書では、以下4つの視点から、今回の災害から見えた課題と今後の取り組みを整理した。

なお、大雪対策の根幹をなす道路の除雪対策と、農業施設の自然災害対策の詳細な検証は、個別に行う。

1. 災害対策本部・各対策部の運営

- (1) 職員災害対応マニュアルの見直し、運用を徹底
- (2) 職員が居住地から参集できない場合、居住地に近い支所等を活動拠点とする等、活動体制の整備
- (3) 災害発生等情報状況通報担当者の複数制の導入

2. 関係機関との連携

- (1) 自主防災組織等と連携、体制の強化
- (2) 関係機関との緊急連絡体制の整備
- (3) 避難行動要支援者リストの作成、災害時支え合いマップの更新
充実

3. 情報収集・共有・発信

- (1) 情報発信の多重化
- (2) 各対策部からの本部連絡員の配置、連絡システムの強化

4. その他

- (1) 雪捨て場の確保
- (2) 学校、保護者（児童生徒を含む）、地域の共助による、通学路
歩道部分の除雪 等

今回の大雪に限らず、防災・減災対策では、市民による自発的な取り組みが特に重要である。

各区等による自主防災組織活動の支援や基盤づくり、防災に関する情報提供などを通じて、自助・共助・公助、そして近助の協働体制の連携を密にするために地域コミュニティーの向上を促す施策に積極的に取り組む必要がある。

平成26年2月

大雪災害に関する検証報告書

〈平成26年7月〉

佐久市災害対策本部